



かしこく・やさしく・たくましく

西中野

平成 29 年度 7 月 (471) 号
平成 29 年 7 月 3 日
中野区立西中野小学校
校長 岡本 賢二

豊かな自然に育てられる西中野の子ら

校長 岡本 賢二

西中野小の空は、広く、風はどこまでもさわやかで、土や草木のあたたかいにおいを運んできます。

「カエルつかまえたよ。」と、おとなのげんこつ大のカエルを見せに来る子や、「でっかいバッタとれた。」「亀がたくさんいるよ。」などおしに教えてくれる子などなど、西中野自慢の30分休み時間に、子供たちは思い思いの活動を楽しんでいます。

その他にも、トカゲの産卵を観察している子、池の鯉にエサをあげる子、友達のために小さな野原で花を摘んでいる子、緑のカーテンのゴーヤに何度も水やりをする子、育てているミニトマトの鉢の中の雑草を熱心に摘み取る子など、西中野の豊かな自然にふれ合うことを楽しむ子がたくさんいます。子供のころに、自然の生き物に触れて、その感触やにおいや息づかいから命を感じることは、豊かな心の育成に極めて重要です。実際、自然と触れ合う子供たちの目は真剣で輝いています。



「ゴーヤ大きく育てね」



ていねいに雑草を取る子



池の亀と対話する子供たち



バッタをたくさん捕まえた子供たち

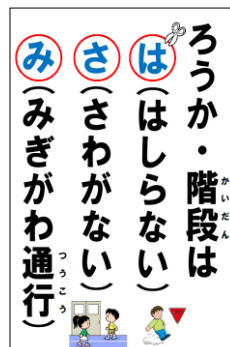
そのような子供たちの姿を見ると、心があたたかくなります。西中野小の環境は、とてもとても恵まれています。この環境を、この環境の中でできる体験をこれからも大切に、心やさしく、思いやりのある子を育てます。ご来校の際は、校内の環境もどうぞご覧ください。

七月の生活目標

「ろうか・階段を静かに歩こう」

生活指導部

西中野小学校には、廊下・階段を安全に歩行するために「は・さ・み」という合言葉があります。



日々、学校では、廊下・階段の歩行について指導をしています。廊下や階段を走ったり、階段を数段飛び降りたりする児童がいます。時には捻挫や打撲など、けがをする児童もいます。また、人とぶつかったりすると大きなけがにつながることもあります。

児童にとって、わかりやすい合言葉をもとに指導することで、廊下や階段は「右側を静かに歩く」ことが定着することをねらっています。

ご家庭でも、道路を歩いたり、自転車で走ったりする時の安全について話題にいただくと助かります。

保健目標

「夏を健康にすごそう」

給食目標

「夏の食生活と」

健康について考えよう」